

評価指標について

1. 計画の枠組み

(1) 計画の目標年次・計画期間

計画期間：10年（令和8（2026）年から令和17（2035）年）

目標年次：令和17（2035）年

中間年次：令和12（2031）年（5年後）

(2) 計画対象範囲

市域全体（全域が都市計画区域） 約7,649ha

うち、市街化区域面積 約3,398ha

市街化調整区域面積 約4,251ha

(3) 計画人口

策 定 時 280,033人（住民基本台帳人口（平成28年3月31日時点））

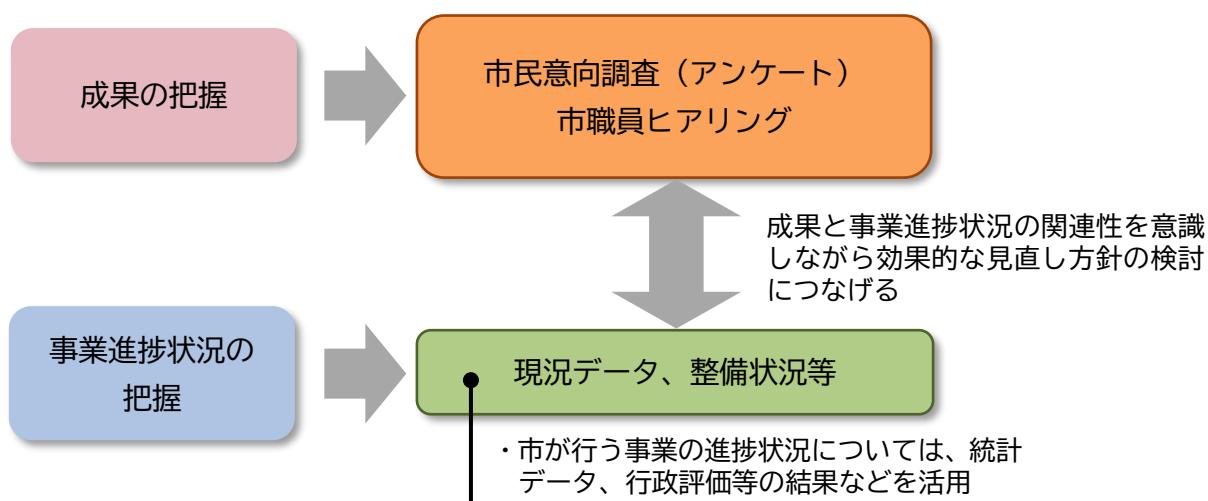
現 状 285,729人（住民基本台帳人口（令和6年3月31日時点））

中間年次 287,043人（2031年、国立社会保障・人口問題研究所の推計値）

目標年次 283,348人（2035年、国立社会保障・人口問題研究所の推計値）

2. 評価の手法と目標の設定（案）

タイミング	作業内容	評価や見直し作業にあたっての主な要素
1年ごと	・次年度事業内容の見直し	・行政評価等
5年ごと	・計画の中間見直し（主に第4章以降の改訂） ・その時点から5年間の事業シートの作成	・市民意向調査（アンケート） ・市職員ヒアリング ・みどりの施策推進委員会 ・縁にかかる統計データ等
10年ごと	・計画全体の見直し ・その時点から5年間の事業シートの作成	・社会潮流、国の動き ・市民意向調査（アンケート） ・市職員ヒアリング ・みどりの施策推進委員会 ・縁にかかる統計データ等



「市の緑に対する満足度」の数値目標について

- ・計画の成果を評価する指標として「市の緑に対する満足度」についての数値目標を設定します。
- ・数値目標は、五段階評価で、満足、やや満足と評価した方の比率の合計について、以下のとおり設定します。

現在（令和7年（2025年）度）の満足度 ^注	21.8%
目標（令和17年（2035年）度）	30.0%以上

注) 茨木市緑の基本計画に関する市民アンケート調査（令和6年（2024年）10月実施）

3. 評価指標の設定案

(1) 基本的な考え方

- ▶ 基本的な方針に基づく取組の成果を確認するため、基本的な方針ごとに評価指標を設定する。
- ▶ 評価指標は、現行計画でも採用されている「市の緑に対する満足度」のほか、本計画改定の視点である「つなぐ」考え方をふまえた指標を検討する。



(2) 評価指標の設定案

項目	評価指標候補案	つなぐ
「みどりの活用」に関する評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ●満足度、活用された分野を評価 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 市民の緑への満足度（市民アンケート） ▶ 公園緑地などで実施されたイベントや講座の分野数 	緑と緑 緑と人 人と人
「共創によるみどりのまちづくり」に関する評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ●取組の開催数、参加人数、主体数、市民の参加意識の割合などを評価 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 緑の拠点でのイベントや緑に関する講座などの開催回数、人数、ボランティア等活用団体数等 ▶ プラットフォームの設置・開催数、共創に関わる主体数 ▶ みどりのまちづくりに関する活動に参加している市民、参加意欲のある市民の割合（市民アンケート） ▶ 地域主体で公園等の利用ルールを設定した地域数 	緑と人 人と人
「みどりの保全・創出」に関する評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ●質の向上、充実に関する整備箇所数などを評価 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 公園マネジメントの検討およびこれに基づく公園の再整備箇所数 ▶ 計画的な維持管理を実施する街路樹延長 	緑と緑 緑と人